

平成28年度 若者意見の政策反映に向けた取組方策について

道では、北海道の未来を担う若者の意見を道政に反映する仕組みづくり等に向けて、効果的な意見聴取の方法を検討している。

平成27年度に実施したアンケートでは、若者意見を聴取する方法として定型フォーム入力方式を望む回答が多かったが、会議やSNSの利用など、双方向での議論の深化を望む声も全体の1/3あったことから、平成28年度は若者による意見交換を試行する。

意見交換の試行に当たっては、参加者が集まったの会議ではなく、道内のどこにいても参加が可能であるよう、SNS（スカイプ）を活用する。

また、他都府県に対して、若者意見を県政等に反映方法等について調査を依頼する。

1 若者による意見交換

(1) 方法

スカイプにより全道数カ所を接続し、テーマ（検討中）に沿って、参加者同士で意見交換する。

(2) 期待される成果

インターネットを活用したテレビ会議の有用性。

(3) 検討経過

平成27年度のアンケート結果から、若者による意見交換の方法を検討したが、本道の特性である広域性を考慮して、インターネットを活用した意見交換を行うこととした。

意見交換は、ラインやフェイスブックなど書き込みを主体とした形式ではなく、SNS（スカイプ）を使用したテレビ会議形式による意見交換とした。

2 他都府県調査

平成27年度は広く若者意見を聴取する手法を調査したが、平成28年度は若者による意見交換について調査するとともに、都府県政にどう反映させているのかを調査する。

（想定）

- ① 都府県内の青少年（子ども・若者）による意見交換や交流の場の有無、内容など
- ② 都府県内の政策への若者意見反映方法